

まちのブランディングに資するリノベーション ～芦屋市 宮塚公園～

株式会社ヘッズ



【公園種別】街区公園
【公園面積】2,294㎡（うちリニューアル対象は約800㎡）
【リニューアル】2018年3月

プロジェクト概要

- 宮塚公園は芦屋市中央部に位置し、並木が美しい街路沿いに飲食店や雑貨店などのお洒落な店舗が集積するエリアに位置する。
- ハード整備としては小規模であるリニューアルを、都市政策におけるブランド化の中に位置づけ、公園のリ・デザインとコミュニティ・マネジメントの両輪で取り組んだ。
- 2016年度に始まった2自治会を中心とした意見交換会は、公園とまちのあり方を考えるプラットホームへと育ちつつある。

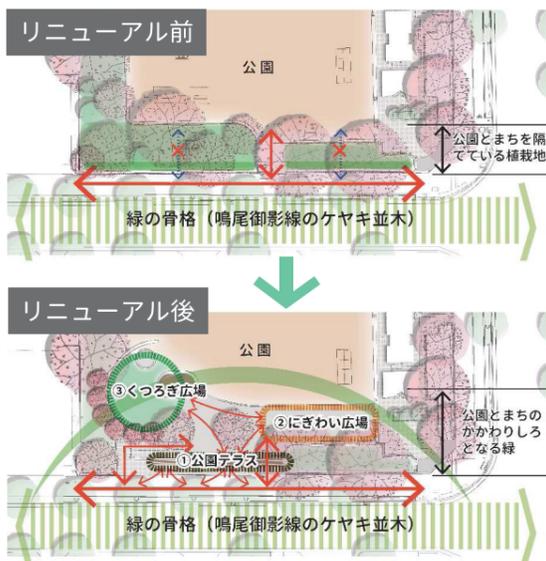


目標像とプロセス



- 緑をブランディングソースとして位置づけ、プロジェクトエリアの活性化拠点として公園の目標像を共有。
- 都市スケールの目標像と生活者目線の利活用イメージの折り合いをつけリニューアルプランで合意形成。
- プロジェクトの意義・プロセスを地域に発信。周辺の店舗や文化活動が誘発され、開かれた公園で融合。
- 小さな「芽ばえ」や「共有」が連鎖し、まちへの愛着や期待感が育まれる。

リ・デザインの考え方

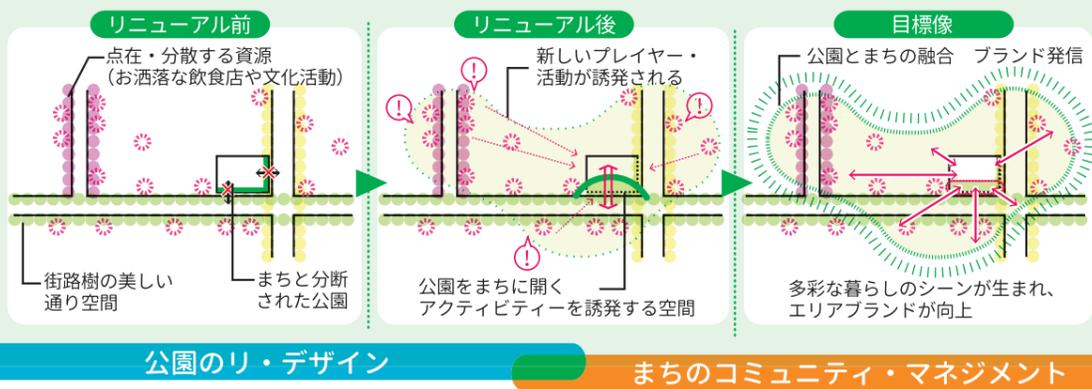


公園とまちのかかわりしるとなる「際」空間に、多様なアイデアを空間・装置として複合化し再構築。



左) 低木が見通しを遮る。子どもを遊ばせるのも不安との声も。
右) まちと公園が一体となり、周辺店舗との関係も生まれた。

公園とまちの変化



公園のリ・デザイン

まちのコミュニティ・マネジメント